山口県PTA連合会広報紙
おやごころ
https://www.yamaguchipta.jp/
第130号
山口県PTA連合会
発行年月日:令和8年11月1日
発行:山口県PTA連合会広報委員会

第74回日本PTA全国研究大会 第52回日本PTA近畿ブロック研究大会 奈良大会

建国の地 大和からの発信 コンヴィヴィアリティな「わ」

日本ＰＴＡ全国研究大会に参加しました



8月21日（金）、22日（土）の2日間、奈良県で第74回日本PTA全国研究大会が開催され、山口県PTA連合会から33名が参加しました。

大会初日、家庭教育や学校教育、地域連携など8つの分科会が行われました。持続可能なPTA組織や活動について、その役割や存在意義、今後のあり方についての講話や、パネルディスカッションによる活発な討議が行われました。

大会2日目は、全体会が天理市の天理大学杣之内第一体育館で開かれ、「倭塾」主宰、「むすび大学」講師の小名木善行氏が「日本の心をつなぐ『和』の力」を演題として講演されました。人と人とのつながりが希薄になり、生きづらさを感じることもある今だからこそ、日本の歴史や文化に根付く、人々が大切にしてきた「わ（和）」の心に目を向けることの大切さについてお話しいただきました。日常の中で人とのつながりを大切にし、「和」の心を生かしていくためのヒントを学ぶ、貴重な講演となりました。

奈良全国大会に参加し、改めて感じたのは「人と人とのつながり」の大切さです。1日目は家庭・学校・地域が共に子どもを育てる「共育」、2日目は日本人が大切にしてきた「和」の心を学びました。

普段は筋肉を鍛え運動の重要性を伝える仕事をしていますが、今回鍛えられたのは心の筋肉！筋トレや子育てもPTA活動も、一人で背負えば重たいものですが、みんなで支え合えば軽くなる。まさに合トレ（合同トレーニング）と同じです（笑）。

子どもたちの笑顔のために、立場や考え方の違いを認め合い、家庭・学校・地域のつながりをさらに強くしていきたいと思います。奈良で得た学びを山口に持ち帰り、心も家庭、学校、地域もムキムキに！

岩国市立由宇小学校 脇 雅美

奈良県で開催された全国大会に参加しました。

1日目の分科会では、会場からの質問を取り入れながら進む参加型の講演がとても楽しく、たくさんの気づきがありました。「大人の心が元気になれば、その心を子どもも持つ」という言葉が心に残り、まずは自分自身が楽しみや喜びを持って過ごすことの大切さを感じました。

2日目の全体会では、「和」をテーマに、視点や発想を変えることで人とのつながりがより良くなることを学びました。全国の仲間と学び、笑い、語り合えた2日間は本当に有意義で、参加できたことに感謝しています。

周南市立熊毛中学校 安田 聖子

令和8年度 山口県PTA連合会 会長メッセージ



保護者のみなさま、教職員のみなさま、そして子どもたちを色々な立場から見守り、共に活動してくださるみなさま、平素よりＰＴＡ活動にご尽力くださりありがとうございます。

令和8年度より会長職を務めさせていただくことになりました安堂卓也と申します。

生徒児童数の減少や保護者の働き方生き方のスタイルの変化、または学校を取り巻く地域との関わり方や人工知能の急速な発達が及ぼす教育環境の変化など、生徒児童たちのために活動していくＰＴＡ活動が多くの面で変化を求められています。

山口県ＰＴＡ連合会は、山口県内ＰＴＡ会員のみなさまが活動をしていただく中で、より活動しやすく、より情報を得やすく、県内他地域のＰＴＡ活動内容に知見を得ながら、山口県内最大規模の社会教育団体として関係各団体と協議し意見を交換しつつ、活動して参ります。

情報が溢れすぎの昨今、取捨選別もできないままに素早い判断を求められ、さらには社会情勢も不透明といった時代です。小学校6年間、中学校3年間という時間は長いようで短いものです。子どもたちのために、親として、地域の保護者として、学校や教職員の最大の理解者としての姿が求められています。みなさまと共にしなやかに活動してゆきたいと思います。

～第20回いじめ防止標語コンテスト～ 作品募集

第20回「いじめ防止標語コンテスト」の作品募集が令和8年11月1日から始まります。

全国の応募者の中から文部科学大臣賞、全国賞、優秀賞、団体推薦賞が選出されます。

ぜひコンテストへの応募を機に、学校やご家庭で「いじめ防止」について考えてみてください。

第19回コンテストでは、山口県内の小中学校から、8,296作品の応募をいただきました。

応募締切 令和9年1月12日必着

募集期間：令和8年11月1日～令和9年1月12日

募集要項

■いじめの防止・根絶を呼びかける標語を募集します。
■文字数の規定はありません。
■応募は児童・生徒1名につき、1作品とさせていただきます。
　個人での応募はできません。各PTA（学校）で取りまとめて山口県PTA 連合会へお送りください。
■応募作品は未発表の日本語原稿に限ります。
■応募作品は返却いたしません。

応募用紙・ポスターは10月下旬、各学校へお届け予定です。

第51回 山口県PTA連合会広報紙コンクール





第51回山口県PTA連合会広報紙コンクール（令和8年3月締切、4月審査）を行い、応募数小学校48校・中学校33校、全81校の中から、下記の学校が最優秀賞にあたる知事賞と教育長賞を受賞されました。

◎知事賞　　下松市立末武中学校　岩国市立東小学校
◎教育長賞　山口大学教育学部附属山口中学校　防府市立右田中学校　下関市立川中中学校
　周南市立徳山小学校　山口市立白石小学校　防府市立松崎小学校　防府市立佐波小学校　下関市立川棚小学校

山口県PTA連合会のホームページからもご覧いただけます。

「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

令和8年度

三行詩コンクール

小学生の部

ぼくを、ほめる母
ぼくを、しかる母
ぼくはこれで成長する

会長賞

宇部市立 鵜ノ島小学校6年　中田 柑太朗さん

中学生の部

お母さん　お父さん
恥ずかしくって言えなかった「好き」を
今でも言っていいですか？

会長賞

山口県立 高森みどり中学校2年　茅原 愛花音さん

一般の部

「ただいま」の声でわかる心の天気
今日は楽しい1日だったみたい
明日もおねがいね　てるてる坊主さん

会長賞

下関市立 川中中学校 PTA　村上 祐子さん

中学生の部 高森みどり中学校 一藤萌花さん の作品は
日本PTA全国協議会 三行詩コンクールで佳作に入賞されました。

県内の小学生の部77作品、中学生の部58作品、一般の部10作品、合計145作品の応募をいただきました。

三行詩に携わった委員からは、次のような感想が寄せられました。

「どの作品にも、家族への思いや日々の暮らしの中で感じたことが素直に表現されていて、読んでいるうちに自然と笑顔になりました。」

「三行という短い言葉の中に、こんなにもたくさんの思いを込められることに驚きました。作品を通して、家族のつながりの大切さを改めて感じました。」

このコンクールは、テーマについて親子で一緒に考えることを通して、子どもたちの基本的な生活習慣を見直したり、家族のつながりや命について話し合ったりする貴重な機会となっています。

その他の入賞作品は、ホームページでご覧いただけます。

小学生の部

ままがつくってくれた
おべんとうが　だいすき♡
だってげんきになれるから

優秀賞

山口大学教育学部附属山口小学校1年　長野 英さん

父がいない日、静かな食事。
父がいる日、さわがしい食事。
たまにしかいない父との会話を私は大切にしたい

宇部市立 鵜ノ島小学校6年　真宅 結華さん

中学生の部

言いすぎた日
ほんとは言いたかった「ごめんね」を
「おやすみ」にそっとのせる

日本PTA全国協議会 三行詩コンクール 佳作

優秀賞

山口県立 高森みどり中学校3年　一藤 萌花さん

隠しごとしたい思春期だけど
不思議と本音がボロボロこぼれる
「今日どうだった？」は我が家の魔法の愛言葉

長門市立 深川中学校2年　馬渡 千尋さん

一般の部

高校の同級生達は、アイドルやペット・孫の推し活中だけど、
パパとママは、小4になる一人娘の推し活中。
いつまで推しをさせて貰えるかな？円満家族♡

優秀賞

岩国市立 河内小学校PTA　山本 美恵さん

「ママー！」って、無邪気にいつも私のそばにいた君
気がつけば、目線が同じ高さになっている
ママより、家族より、友達との世界が広がっていく
嬉しいような、寂しいような　でも忘れないでね
いつだって母は君の宇宙一の味方だよ

宇部市立 西岐波中学校PTA　高野 薫さん

各PTAが団体で加入　山口県PTA安全互助会　PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

〈PTA団体傷害保険〉
PTA行事の参加者※1のケガの補償

※1 参加者とは
①PTA会員（保護者・教職員）やその学校に通学する児童・生徒
②PTA会員の同居の親族
③PTA行事への参加が事前にPTAより認められている方

保護者がケガをした



〈PTA賠償責任保険〉
PTA活動の遂行に起因して発生した法律上の損害賠償金の補償※2

※2　PTA活動中に対人、対物事故が発生し、PTA、PTA役員が法律上の損害賠償責任を負った場合

来賓にケガをさせた（対人）



他人の財物を壊した（対物）



〈制度引受保険会社〉AIG損害保険　取扱代理店・扱者 マーシュ ジャパン エージェンシー ネットワーク㈱ 広島NOSCOオフィス　フリーダイヤル　0120-504-551　［承認番号 D-008534（2027-10）］

2026年10月現在の内容です。

小学生・中学生総合保障制度　こども総合保険・自転車総合保険

トラブル被害対応補償

●学校で嫌がらせに遭い、弁護士へ解決方法を相談した





●SNSでの誹謗中傷を削除させるため、弁護士に依頼した

個人賠償責任補償



●投げたボールがそれて他人の家のガラスを割った



●自転車で他人にケガをさせた

山口県自転車条例に対応

傷害補償



●休日に転倒して骨折した



●運動中に熱中症になった

学校管理下動産補償

●体育の授業中にメガネを落とし、割ってしまった





〈制度引受保険会社〉（幹事）AIG損害保険
（非幹事）東京海上日動火災

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に各学校を通じてPTA会員全員に配付されます。詳しくは、配布されたパンフレットでご確認いただくか、取扱代理店・扱者にお問い合せください。

取扱代理店・扱者 マーシュ ジャパン エージェンシー ネットワーク㈱
広島NOSCOオフィス　フリーダイヤル　0120-714-855　［承認番号 S-270026（2027-10）］

令和8年度 山口県PTA研修大会 しものせき大会

海峡から未来へ

しものせき大会実行委員長伊藤直弥です。

海峡から未来へ　ー子どもを真ん中に、つながる家庭・学校・地域のちからーをテーマに掲げています。

コロナ禍を経て、家庭、学校、地域への関心やつながりが一層希薄になったのではないでしょうか？家庭内で親として子どもとのかかわり、PTA会員として学校、会員同士のかかわり、地域の一員としてのかかわり。これからの地域づくりには、子どもを真ん中に「人と人」とのつながり（かかわり）が必要です。

本大会での、取組みや事例を共有するとともに、杉村太蔵氏の記念講演からチャンスをつかみ、それぞれの「つながり」のきっかけづくり、再認識となり、会員の皆様にとって良い学びの場となれば幸いです。

ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。





家庭教育委員会　親子料理教室を開催しました。

家庭教育委員会では、8月29日（土）に令和8年度「子育て親育て研修会」として、「親子料理教室」を開催しました。

講師には、山口県立大学栄養学科調理学研究室の園田純子准教授をお迎えし、普段は入ることのできない同大学の調理実習室を会場に、「普段も、そして災害時にも役立つポリ袋調理」をテーマに実施しました。

県内各地から親子13組、計34名が参加しました。説明や調理のサポートをしてくださった研究室の学生4名のテキパキとした動きに、驚きと感動を覚えながら、親子で楽しく調理に取り組みました。ストック可能な食材とポリ袋を使い、キーマカレーや切り干し大根のサラダなど、4品を作りました。

参加者からは、「もしもの時に活かしたい」「ポリ袋は何でもよいわけではないことを知ることができてよかった」などの感想が寄せられました。親子で楽しく調理を体験しながら、防災についての学びも深めることができる、充実した研修会となりました。

※山口県立大学では、防災食に関する情報やポリ袋調理のレシピなどを広く公開されています。詳しくは、山口県立大学のWEBサイトなどをご覧ください。



